

江差町のまちづくりにおける現状

| | | | |
|------|-----------------|-------|-----|
| 【目次】 | 1 自然環境 | | P1 |
| | 2 社会環境 | | P2 |
| | 3 土地利用、市街地・インフラ | | P12 |

I 自然環境

【地形】

- ◆ 渡島半島西海岸に位置。
- ◆ 東側に山地・丘陵地があり、幾つかの小河川が西流。
- ◆ 南部は平地が少ないが、かもめ島の対岸を中心に市街地が形成。
- ◆ 北部は、厚沢部川流域を中心に水田耕作地が発達。

【気候】

- ◆ 日本海を流れる対馬海流の影響で、道内では比較的温暖。
- ◆ 11月から3月が降雪期、降雪の最大深さは90cm（H28.1）（町HPより）
- ◆ 冬季の日本海から吹き付ける北西の強風「たば風」が特徴。

【植生・動植物】

- ◆ 南方系と北方系の植物が混在。
- ◆ かもめ島や砂坂海岸林は、檜山道立自然公園に指定。
- ◆ 「ヒノキアスナロ及びアオトドマツ自生地」は、国指定天然記念物。
- ◆ 町内にはヒグマやエゾシカ、キタキツネやエゾタヌキなど陸生哺乳類が生息。
- ◆ 海岸には夏にオオセグロカモメ、冬にはオオワシやオジロワシが飛来。

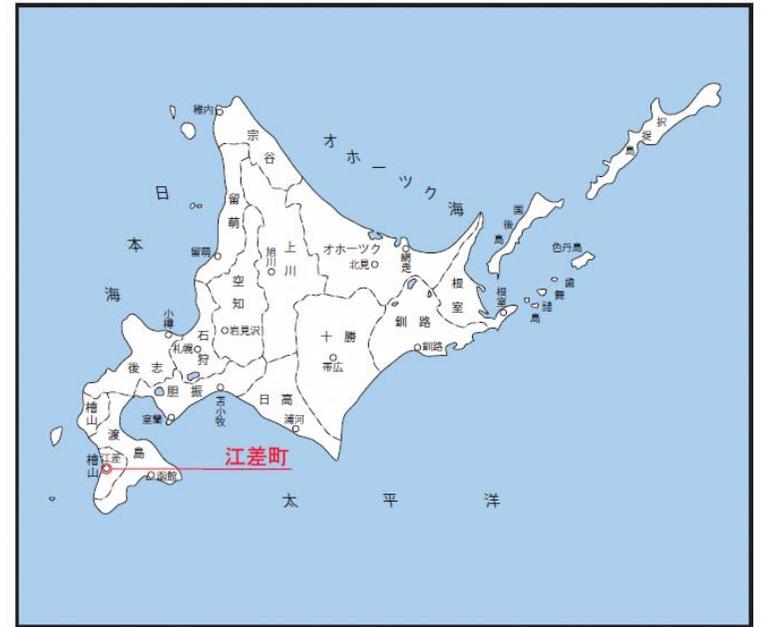


図 江差町の位置

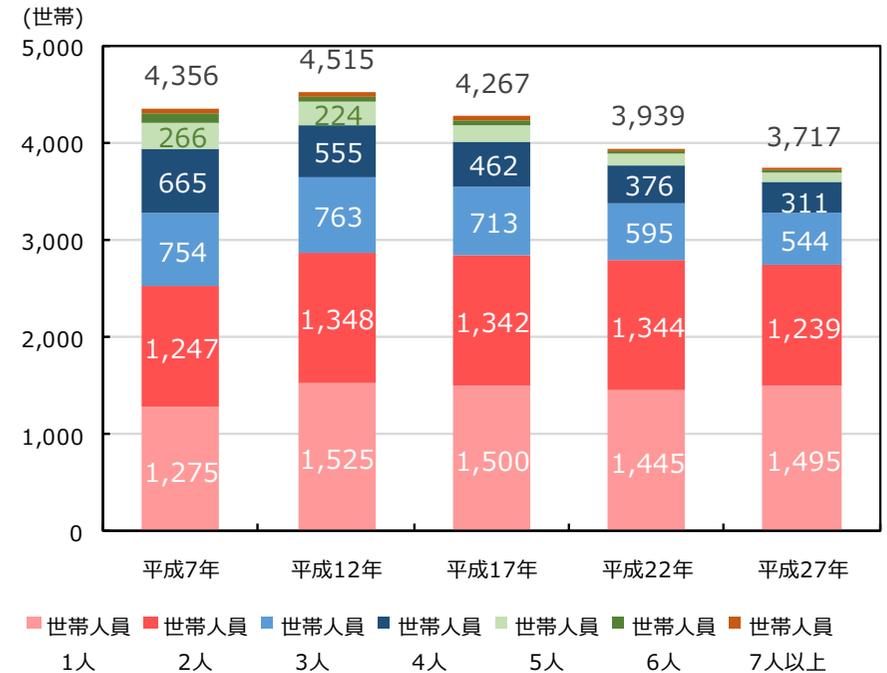
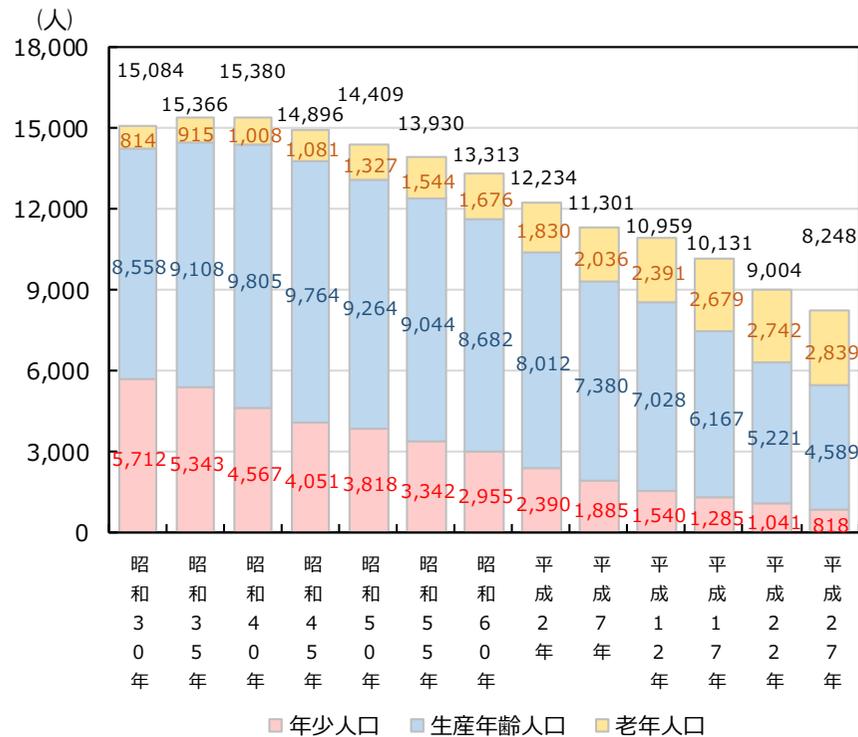


図 江差町の地図

Ⅱ 社会環境

【人口】

- ◆ 昭和40年のピーク（15,380人）から46%の減少（8,248人・H27）
- ◆ 平成27年の老年人口割合は34.4%、年少人口割合は9.9%
- ◆ 世帯規模の縮小、1人世帯・2人世帯の増加。
- ◆ 地区別人口は、ここ20年で伏木戸町、柳崎町の人口増が顕著である。



(資料：各年国勢調査)

図 江差町の人口

図 世帯人員別世帯数

Ⅱ 社会環境

【人口】

◆ 地区別人口は、ここ20年で伏木戸町、柳崎町の人口増が顕著である。

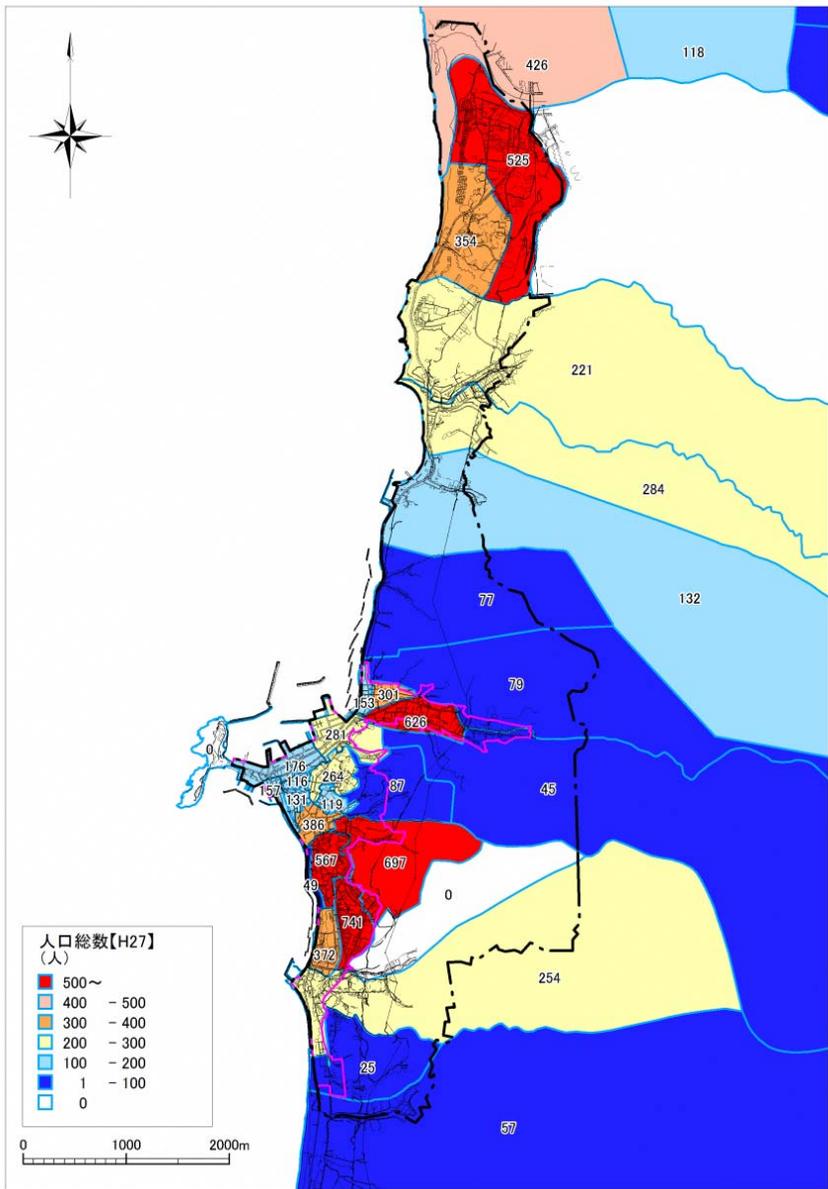


図 人口総数 (H27)

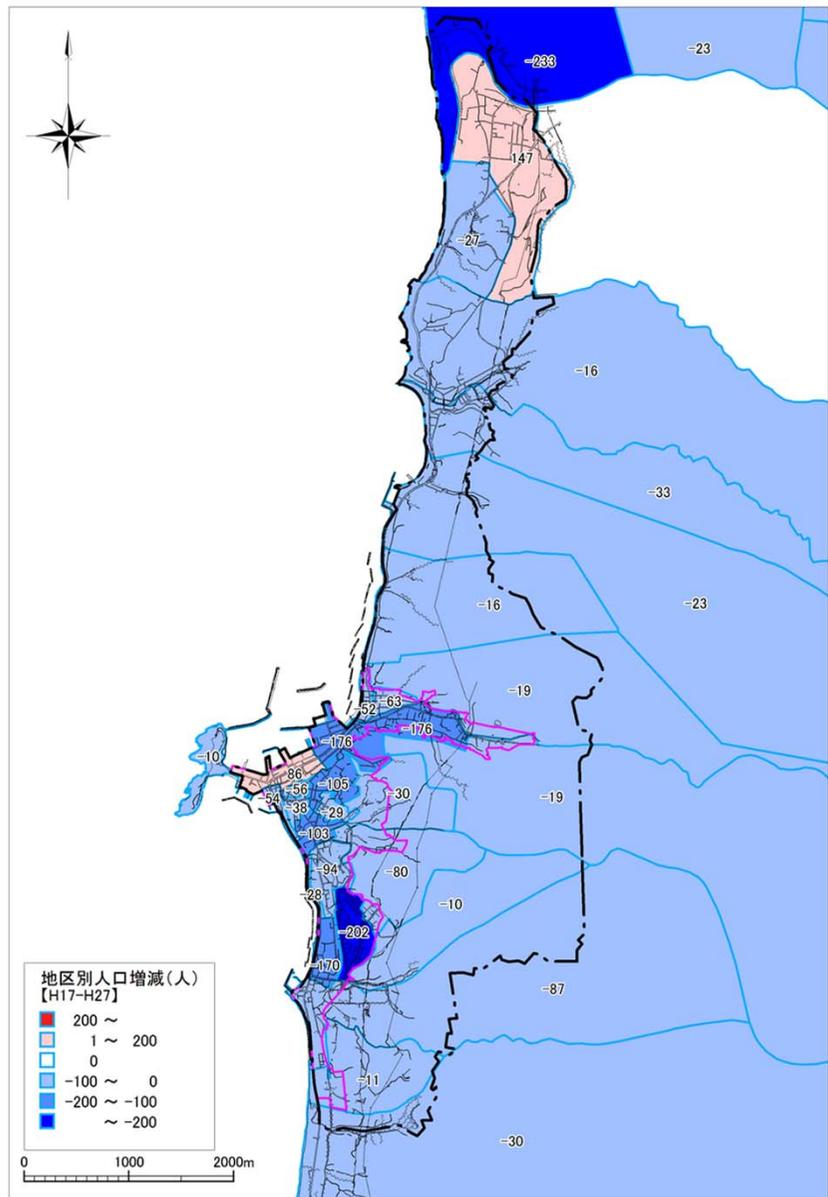


図 人口増減 (H17~H27)

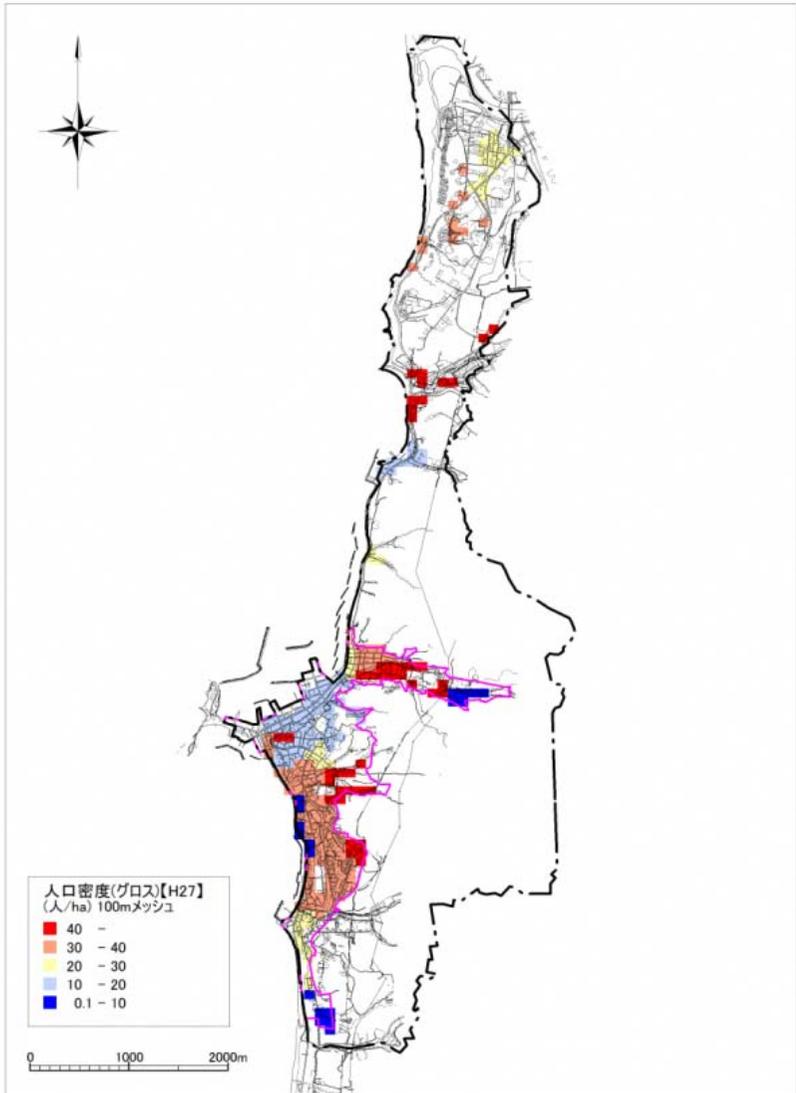
(資料：各年国勢調査)

Ⅱ 社会環境

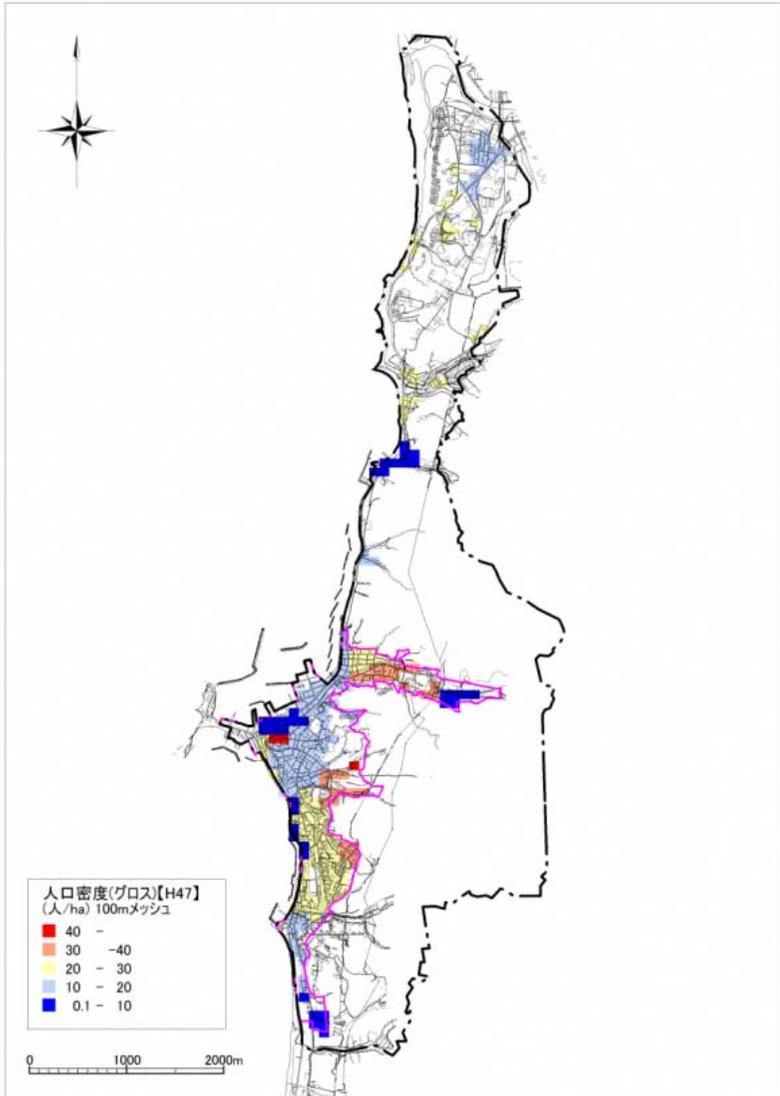
【人口】

◆ 将来人口は、ここ20年で全体的な人口密度低下が懸念される。

《人口密度 (H27) ※推計値》



《人口密度 (H47) 推計値》



Ⅱ 社会環境

【産業】

- ◆ 就業者数は減少、サービス業、卸売小売業・飲食店の就業者割合が高い。
- ◆ 産業別では医療・福祉の就業者数が最も多いが、漁業、林業の特化係数が高い。
- ◆ 年間商品販売額、製造品出荷額とも減少傾向。

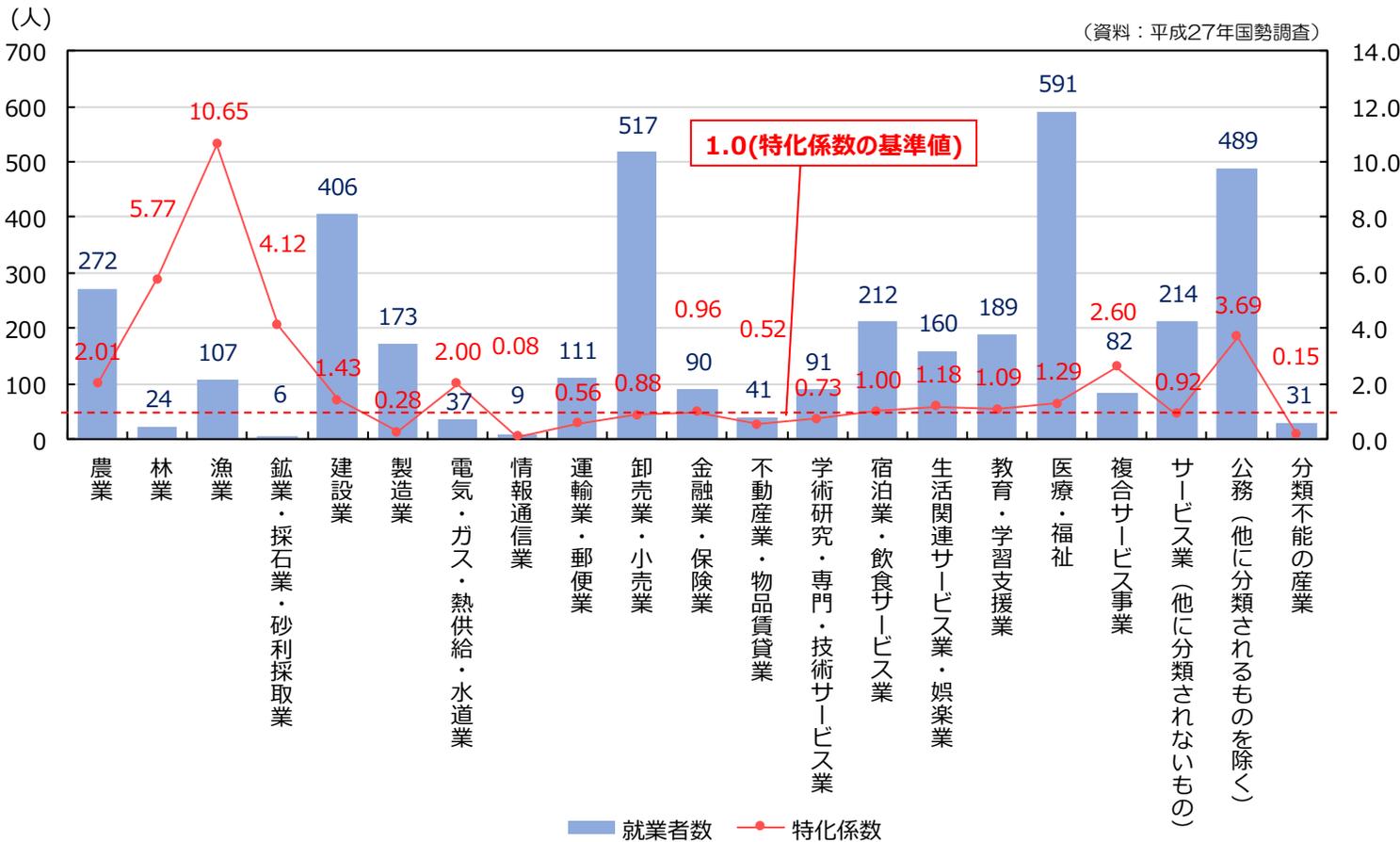


図 産業分類別就業者数と特化係数

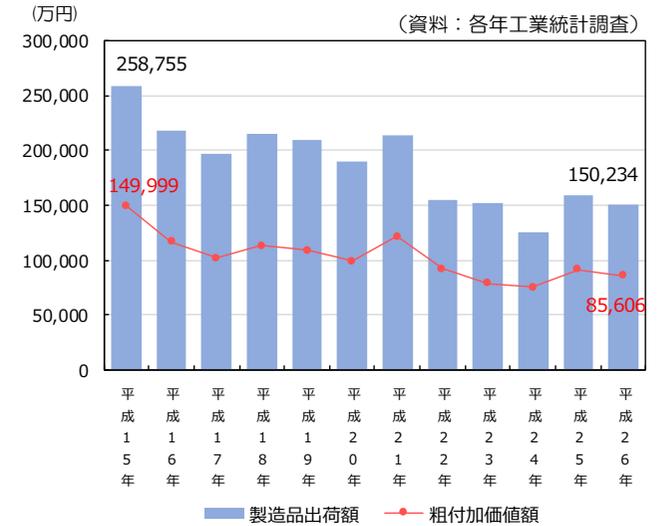


図 製造品出荷額

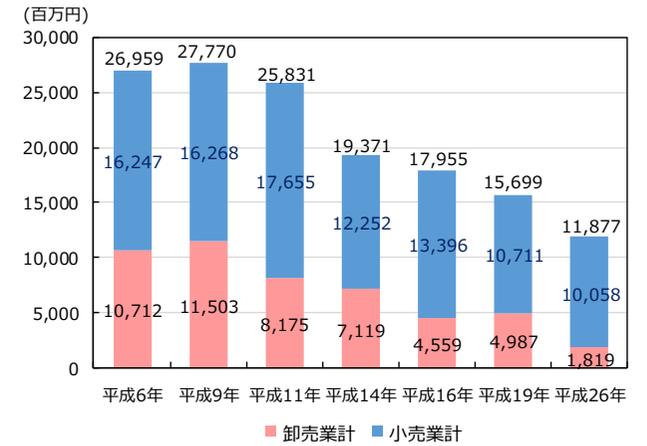


図 商品販売額

Ⅱ 社会環境

【産業】

- ◆ 観光入込客数は檜山管内で最多だが、平成28年はピーク時（H2）の43%。
- ◆ 月別観光入込客数は、姥神大神宮渡御祭がある8月が最も多い。
- ◆ 訪日外国人宿泊客数は、ここ2～3年で急増している。

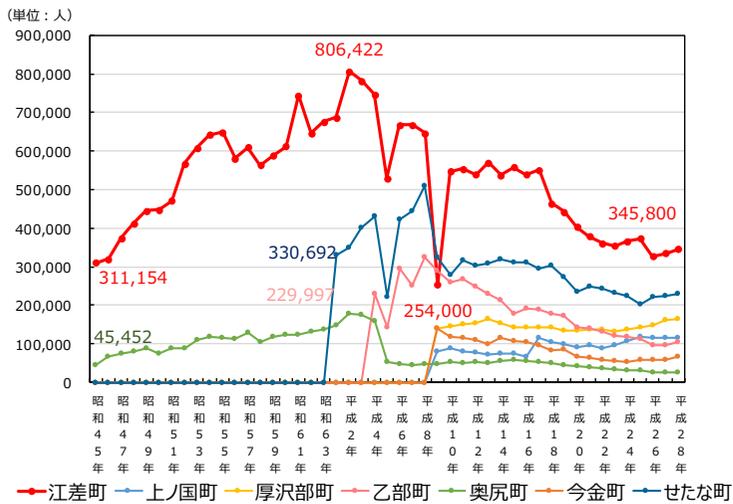


図 檜山管内の観光入込客数

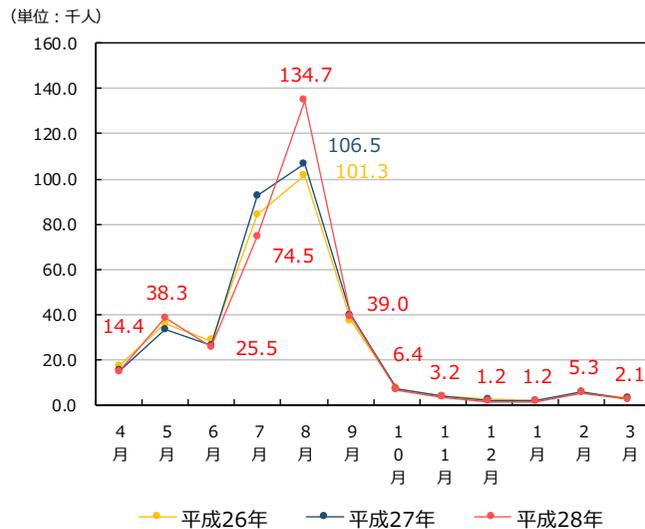


図 江差町の観光入込客数

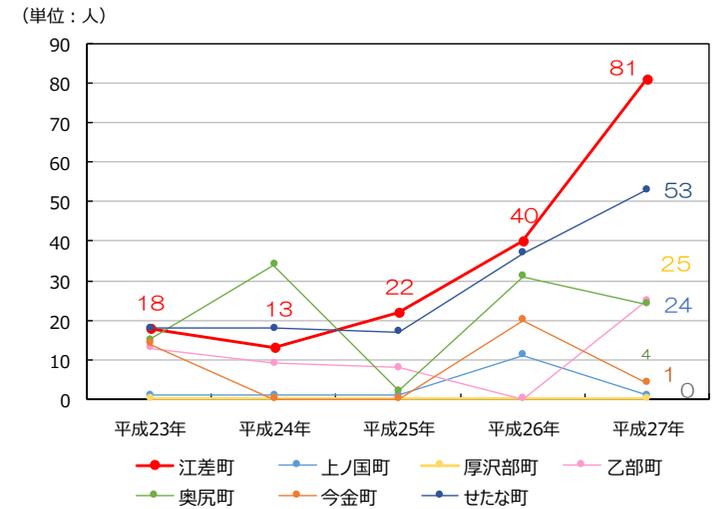


図 檜山管内の外国人宿泊客数

(資料：北海道経済部観光局)

Ⅱ 社会環境

【歴史・文化】

- ◆ 中世より蠣崎氏・松前藩の交易により発展、17世紀後半からニシン漁が隆盛。
- ◆ 明治になると箱館戦争の舞台となる。
- ◆ 当時の歴史・文化を伝える遺構や伝承が多く残されている。



図 江差港写真



図 北前船停泊写真

(資料：江差町ホームページ)

【都市づくりに関する沿革】

| 西暦 | 都市づくりの動き |
|------|--|
| 1936 | 江差線開通 |
| 1948 | 北海道立江差病院開設 |
| 1950 | 旧都市計画法による都市計画区域の指定 (5,019ha) |
| 1955 | 江差・泊村が合併 |
| 1959 | 最初の都市計画道路の決定 (駅前通、豊川町通、円山通、橋本茂尻通) |
| 1966 | 臨港地区の指定 (当初5.2ha) |
| 1969 | 新都市計画法による都市計画区域の変更 (355ha) 道立江差病院、円山に移転 |
| 1973 | 新都市計画法による用途地域の指定 (267ha) 準防火地域の指定 |
| 1989 | 江差港マリーナ 完成 |
| 1990 | 文化会館 建設 |
| 1993 | 道の駅 江差 開設 現江差町役場 建設 |
| 1996 | 「ふるさと江差の街並み景観形成地区条例」制定 |
| 1997 | 地区計画・歴まち中歌姥神地区の指定 (9.2ha) |
| 1998 | 道立江差病院、現在地 (伏木戸町) に移転 |
| 2014 | 江差線 (木古内-江差間) 廃止 |
| 2017 | 江差町「日本遺産」認定 |

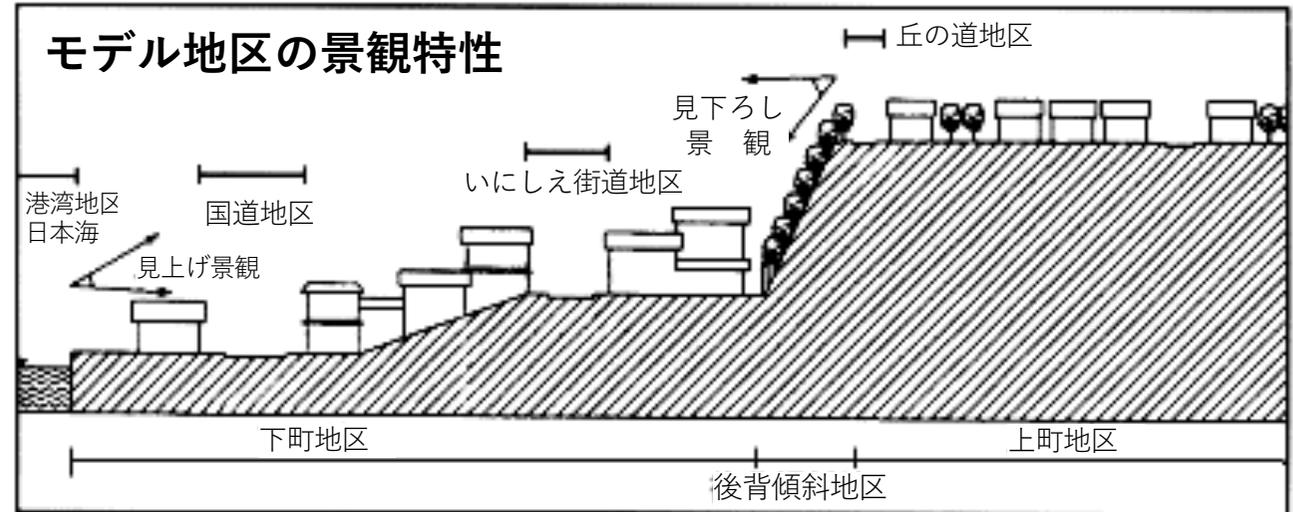
(資料：平成29年度 江差町都市計画マスタープラン策定委託業務報告書)

II 社会環境

【歴史・文化】

江差町の歴史と都市空間について

江差町 歴まちモデル地区
(いにしえ街道) の
景観特性



■ 町の形成の特性

丘陵性台地の^{上町}と海岸線に沿った^{下町}

→見下ろしの瓦屋根景観

→面的に広がる^{上町}と線的に伸びる^{下町}景観

1 9世紀に入って小売商を中心に形成された^{上町}

1 8世紀に漁師、問屋、小売商を中心に形成された^{下町}

→「ハネダシ」と呼ばれる栈橋的機能を持つ木造2階建ての建物

→傾斜地部分の屋根の重なり（見上げ景観）

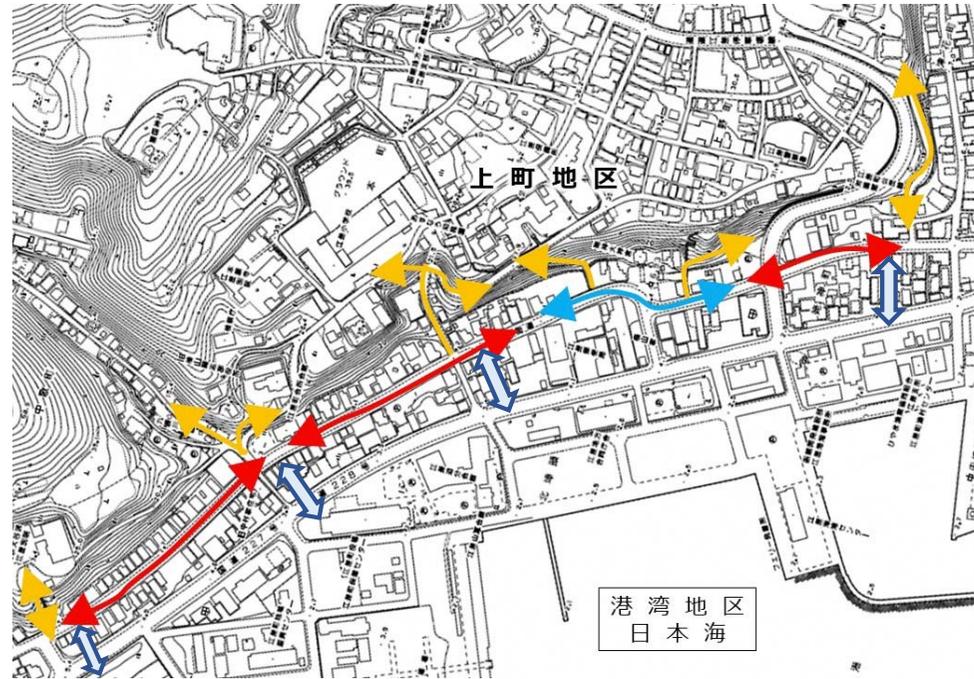
→山手川には石置き屋根、下見板張りの民家や商家、土蔵

日本海沿岸各地にみられる（かつてあった）「ハネダシ」景観

II 社会環境

【歴史・文化】

■ 街区の街路特性



1. 緩やかに湾曲した街路



→海岸段丘に沿って湾曲している「いにしえ街道」
→進むにつれて連続的に展開し、期待感を持たせる街路景観

2. クランク状に屈曲した街路



→姥神神社前の広場で、クランクしている街路
→地区内の中間に位置し、通りの結節点

3. 海側への小路



→かつての水際（現国道）に降りるための建物の間にある小路
→北海道では珍しく現存している歩行者専用道路（幅1.5m程度）

4. 上町と下町をつなぐ坂道 (后背傾斜地を登る坂道)



→上町と下町をつなぐ、かつて寺社の参道であった坂道
→丘の道（眺めの良い散策路）の一部で、北海道では珍しく現存している歩行者専用空間（坂道）

II 社会環境

【歴史・文化】

江差町の市街地と「江差町のお宝」について（「いにしえ街道を例に」）

江差町には、その土地ごとの歴史・文化に根差した様々な「お宝」が存在
場所ごとの江差のお宝（中歌・姥神地区等の一部）



いにしえ街道全体・ 周辺も含めたお宝

- ・土蔵群
- ・馬坂・アカシア並木
- ・いにしえ街道と国道をつなぐ小路
- ・切石坂
- ・北前坂

中歌町のお宝

旧中村家住宅、旧檜山爾志郡役所、江差追分会館、江差追分歌詞の碑、金剛寺、真宗大谷派江差別院、佐之市の碑、若山家住宅、木村家住宅、高橋政次郎（住宅）、関川家住宅、加川秀男住宅、九艘川橋の欄干、江差町道路元標、江差町会会館、九艘川、九艘川公園の土蔵トイレ、クロマツ、江差八勝の石碑、金剛寺石仏、中歌遺跡

姥神町のお宝

横山家、法華寺山門、鈴鹿甚右衛門之碑、姥神大神宮拝殿・本殿・玉垣・手洗石・鳥居・狛犬、県社姥神大神宮の碑、清水谷公考の和歌の木碑、折居社、天満宮、壱番蔵、皐月蔵チャミセ、堀井家住宅、西川家住宅、辻仁店舗兼住宅、平井良治住宅、齊藤弘文住宅、岩崎晴二（住宅）、向山家住宅、アネロイド気圧計、江差港防波堤起点、北海漁祖折居社旧跡の碑、法華寺坂途中の祠、かまぼこケソン、関川商店の桜、マサキ、ウメ、クロマツ、「岩崎の岩」の跡、法華寺坂、能登屋の坂

鷗島のお宝

鷗島の井戸、瓶子岩、巖島神社、巖島神社の鳥居・鳥居柱・手洗石・狛犬、イワシ定置網標石、江差追分分節記念碑、皇太子殿下御婚礼記念林の石碑、高橋謹齋翁記念碑、小路豊太郎の碑、馬岩、浜田喜一の像、テカエシ台場、北前船が係船した跡、キネツカ台場、鷗島、弁慶の足跡、伝汐見亭跡、階段跡、鳥居柱の跡、遊歩道脇の横穴、千畳敷の柱穴、エンカマ、千畳敷、鷗島遺跡

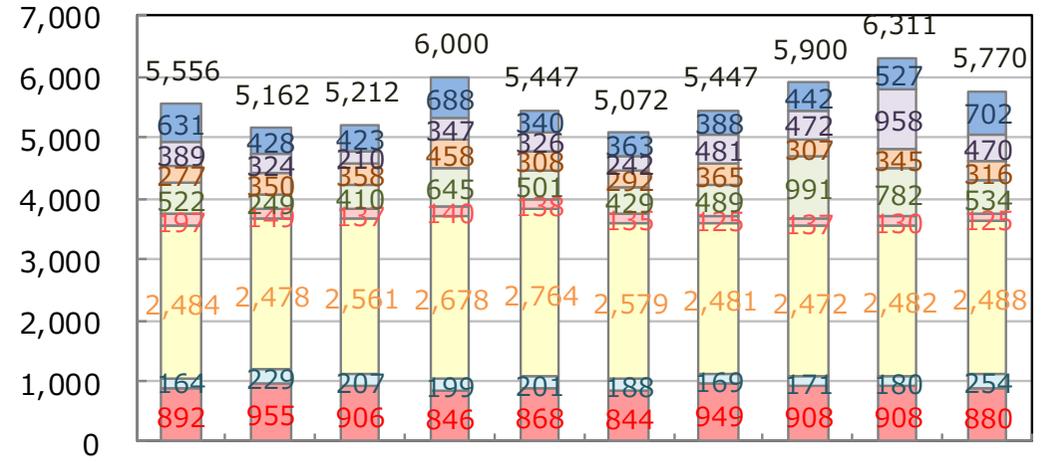
出典：江差町ホームページ
江差町歴史文化基本構想P92～107
不動産、実物・空間のみ整理

Ⅱ 社会環境

【町財政（一般会計）】

- ◆ 歳入58億円、歳出54億円(H27)
- ◆ 歳入の4割が地方交付税、歳出の13%が扶助費で増加

(単位：百万円)

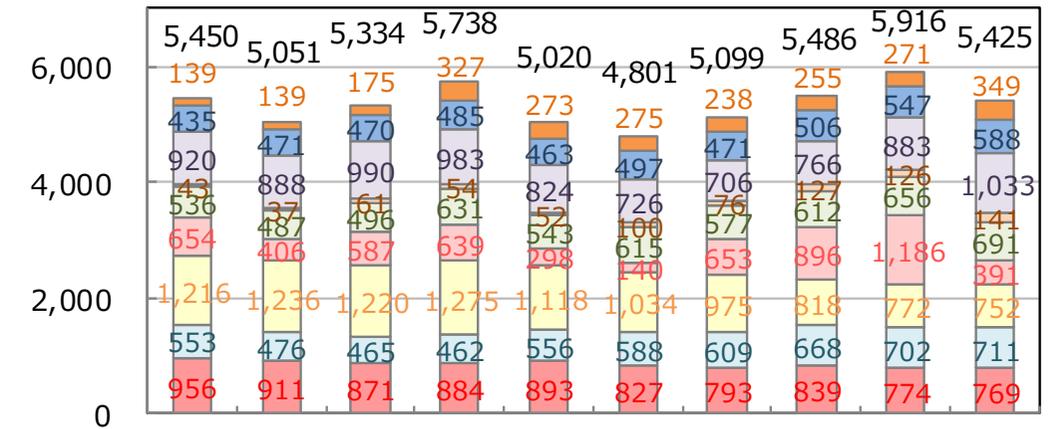


H18年度 H19年度 H20年度 H21年度 H22年度 H23年度 H24年度 H25年度 H26年度 H27年度

- 地方税
- 譲与税・交付金
- 地方交付税
- 国庫支出金
- 道支出金
- 地方債
- 使用料・手数料
- その他

図 歳入の推移

(単位：百万円)



H18年度 H19年度 H20年度 H21年度 H22年度 H23年度 H24年度 H25年度 H26年度 H27年度

- 人件費
- 扶助費
- 公債費
- 普通建設事業費
- 物件費
- 維持補修費
- 補助費等
- 繰出金
- その他の経費

図 歳出の推移

(単位：千円)

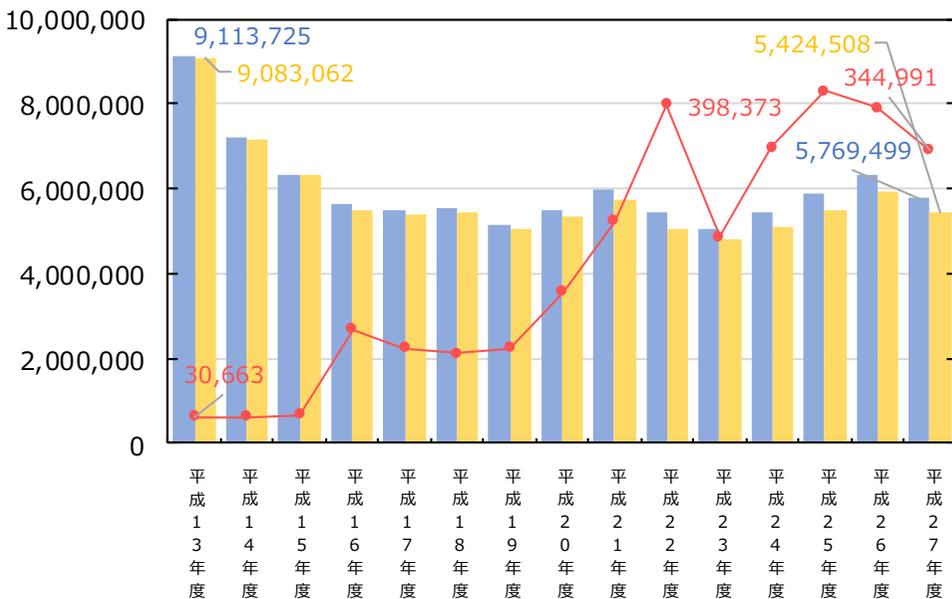


図 歳入・歳出の推移

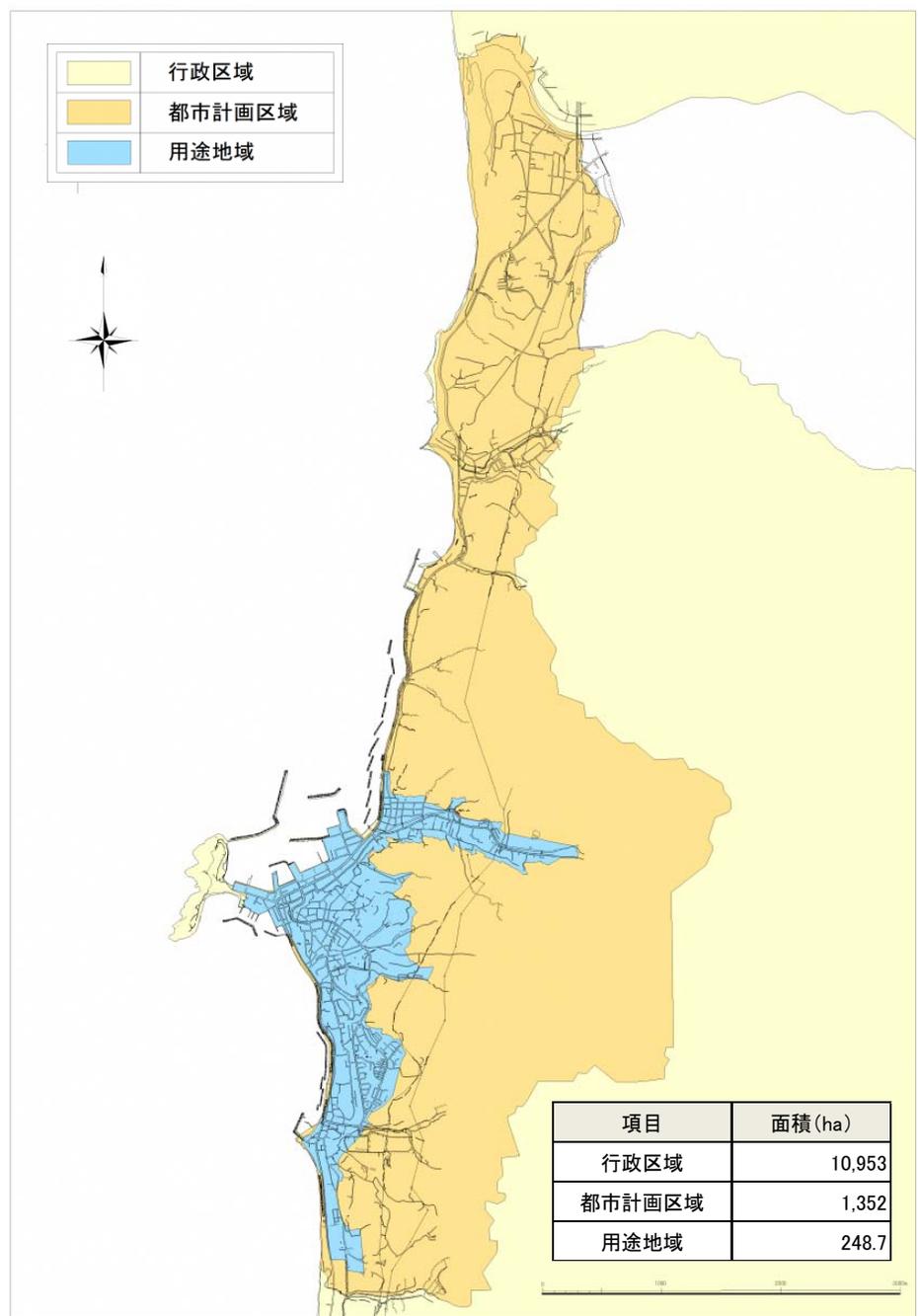
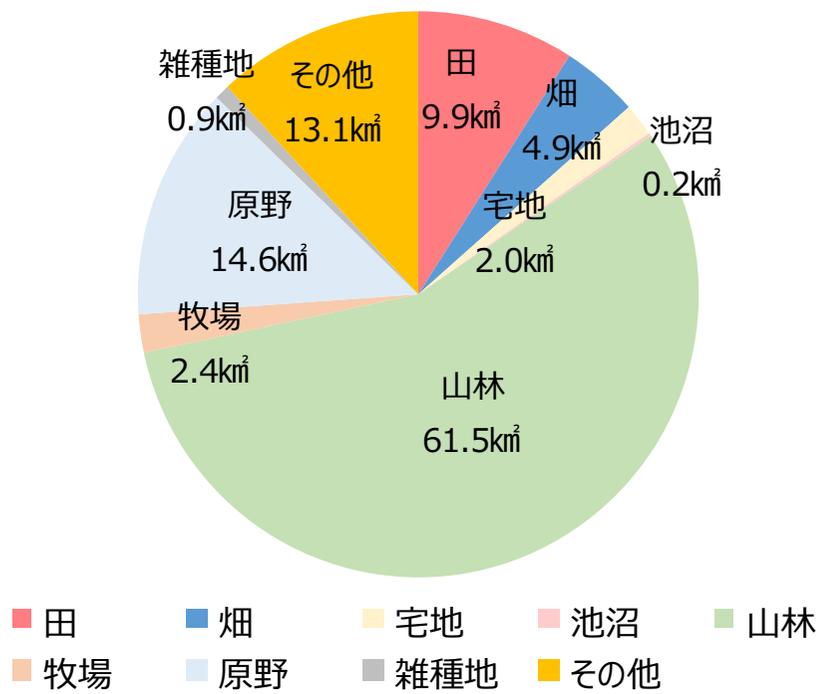
(資料：各年国勢調査)

Ⅲ 土地利用、市街地・インフラ

【地目別面積】

◆ 都市計画区域1,352ha、用途地域248.7ha

◆ 行政面積（109.53km²）のうち、山林61km²、宅地2km²



(資料：江差町ホームページ)

図 江差町の地目別面積

図 江差町の都市計画区域

Ⅲ 土地利用、市街地・インフラ

【都市計画の概要】

- ◆ 商業系用途：本町・茂尻町（商業）、姥神町国道沿線（近商）
- ◆ 工業系用途：中歌町港湾部（工業）、姥神町港湾部（準工）
- ◆ 住居系用途：海岸沿い等（一住）、内陸部・山の手（一中高・二中高）
商業地域周辺（二住）
- ◆ 準防火地域と臨港地区の指定
- ◆ 都市計画道路：9路線11.31km、都市計画公園：4箇所・22.28ha

表 江差町の用途地域

| 用途地域 | 面積 | 構成比 |
|--------------|---------|------|
| 第一種低層住居専用地域 | 15.0ha | 6% |
| 第一種中高層住居専用地域 | 51.0ha | 21% |
| 第二種中高層住居専用地域 | 22.0ha | 9% |
| 第一種住居地域 | 52.0ha | 21% |
| 第二種住居地域 | 36.0ha | 14% |
| 近隣商業地域 | 11.0ha | 4% |
| 商業地域 | 10.0ha | 4% |
| 準工業地域 | 44.0ha | 18% |
| 工業地域 | 7.7ha | 3% |
| 合計 | 248.7ha | 100% |

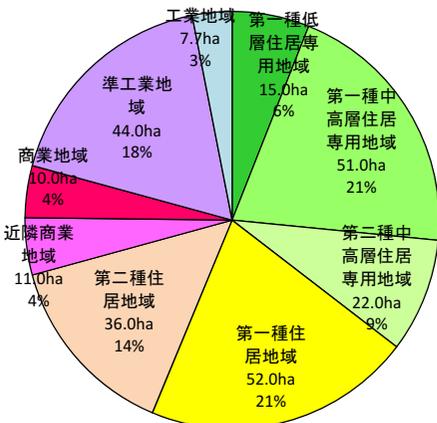


図 江差町の用途地域

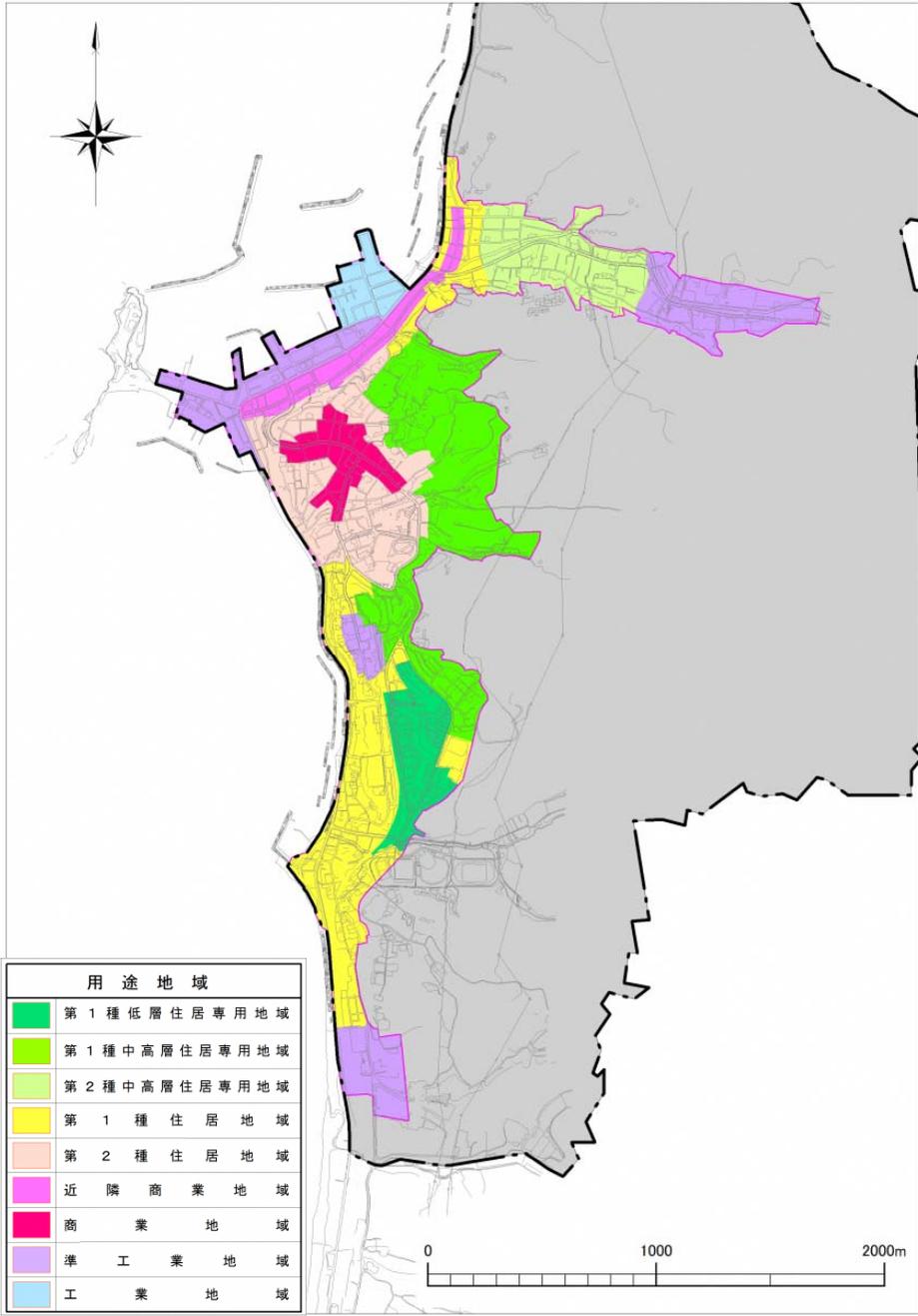


図 江差町の用途地域

(資料：都市計画基礎調査 H22.10.1時点)

Ⅲ 土地利用、市街地・インフラ

【都市計画の概要】

- ◆ 公共下水道供用面積は98ha（進捗率36%）
- ◆ 下水道接続戸数は、接続可能戸数の60%

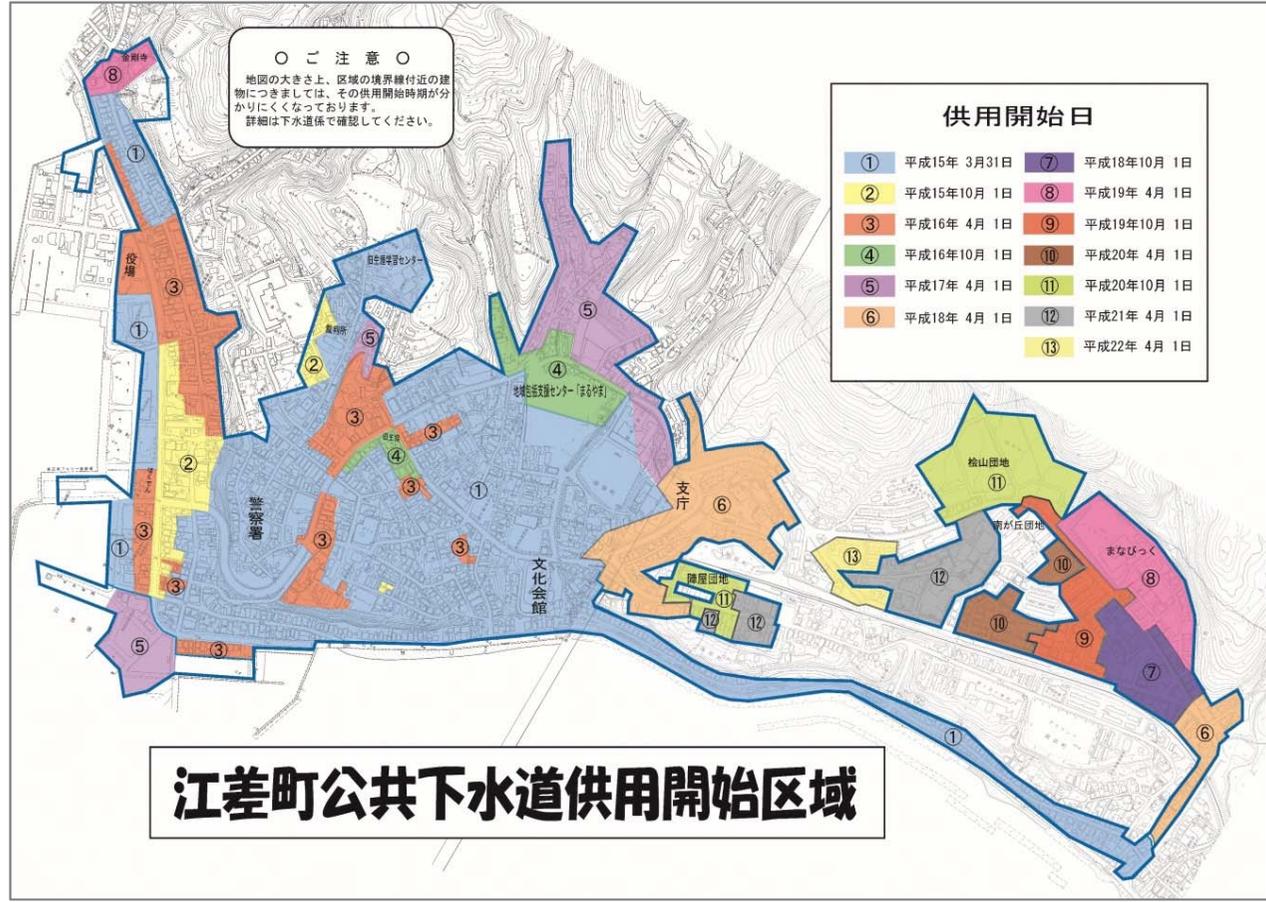


図 公共下水道供用開始区域

(資料：江差町ホームページ)

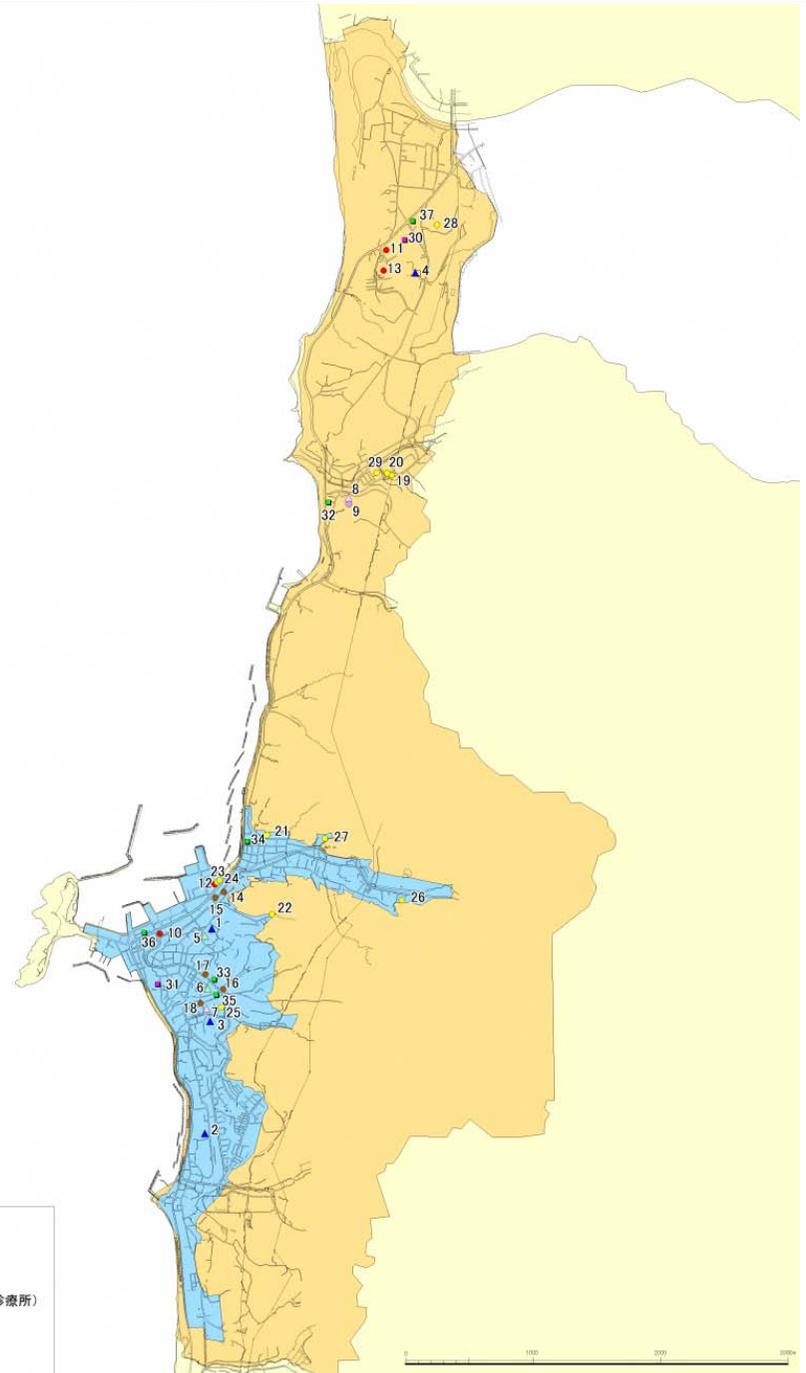
Ⅲ 土地利用、市街地・インフラ

【市街地機能の分布、土地利用・開発動向】

- ◆ 生活利便機能は商業・近商地域に集積するが、用途地域外の伏木戸町では道立江差病院など各種施設が立地している。
- ◆ 町内に商業施設はスーパー2軒、コンビニ6軒。うちスーパー1軒・コンビニ2軒は、用途地域外に立地。

表 施設一覧

| 番号 | 分類 | 施設名称 |
|----|---------------|----------------------------|
| 1 | 学校 | 江差町立江差小学校 |
| 2 | 学校 | 江差町立南が丘小学校 |
| 3 | 学校 | 江差町立江差中学校 |
| 4 | 学校 | 北海道立江差高等学校 |
| 5 | 幼稚園 | 江差小学校付属あすなろ幼稚園 |
| 6 | 幼稚園 | 函館カトリック学園江差幼稚園 |
| 7 | 保育園 | かもめ保育園 |
| 8 | 保育園 | 日明保育園 |
| 9 | 子育て支援施設 | 江差町子育て支援センター |
| 10 | 医療施設 (病院・診療所) | 佐々木病院 |
| 11 | 医療施設 (病院・診療所) | 江差脳神経外科クリニック |
| 12 | 医療施設 (病院・診療所) | 道南勤医協江差診療所 |
| 13 | 医療施設 (病院・診療所) | 北海道立江差病院 |
| 14 | 医療施設 (歯科) | 岩坂歯科医院 |
| 15 | 医療施設 (歯科) | 和み歯科医院 |
| 16 | 医療施設 (歯科) | えさしホワイト歯科クリニック |
| 17 | 医療施設 (歯科) | 増永歯科医院 |
| 18 | 医療施設 (歯科) | 和崎歯科医院 |
| 19 | 福祉施設 | グループホームなごみ |
| 20 | 福祉施設 | デイサービスセンターあかり |
| 21 | 福祉施設 | ちもと居宅介護支援事業所 |
| 22 | 福祉施設 | ヘルパーステーションまごころ |
| 23 | 福祉施設 | ヘルパーステーションゆいっこ |
| 24 | 福祉施設 | 訪問看護ステーションはまなす |
| 25 | 福祉施設 | 北海道総合在宅ケア事業団江差地域訪問看護ステーション |
| 26 | 福祉施設 | 社会福祉法人ひのき会ケアハウス |
| 27 | 福祉施設 | 江差町立養護老人ホームひのき荘 |
| 28 | 福祉施設 | 特別養護老人ホームえさし荘 |
| 29 | 福祉施設 | 介護老人保健施設カタセルえさし |
| 30 | スーパー | フードセンターブテン江差店 |
| 31 | スーパー | ラルズマート江差店 |
| 32 | コンビニ | セイコーマート江差尾山店 |
| 33 | コンビニ | セイコーマート江差新地店 |
| 34 | コンビニ | セブン-イレブン江差愛宕町店 |
| 35 | コンビニ | セブン-イレブン江差茂尻町店 |
| 36 | コンビニ | ローソン江差姥神店 |
| 37 | コンビニ | ローソン江差柳崎店 |



- 凡 例
- ▲ 学校
 - ▲ 幼稚園
 - ▲ 保育園
 - 子育て支援施設
 - 医療施設 (病院・診療所)
 - 医療施設 (歯科)
 - 福祉施設
 - スーパー
 - コンビニ

(資料：江差町ホームページ・iタウンページ等)

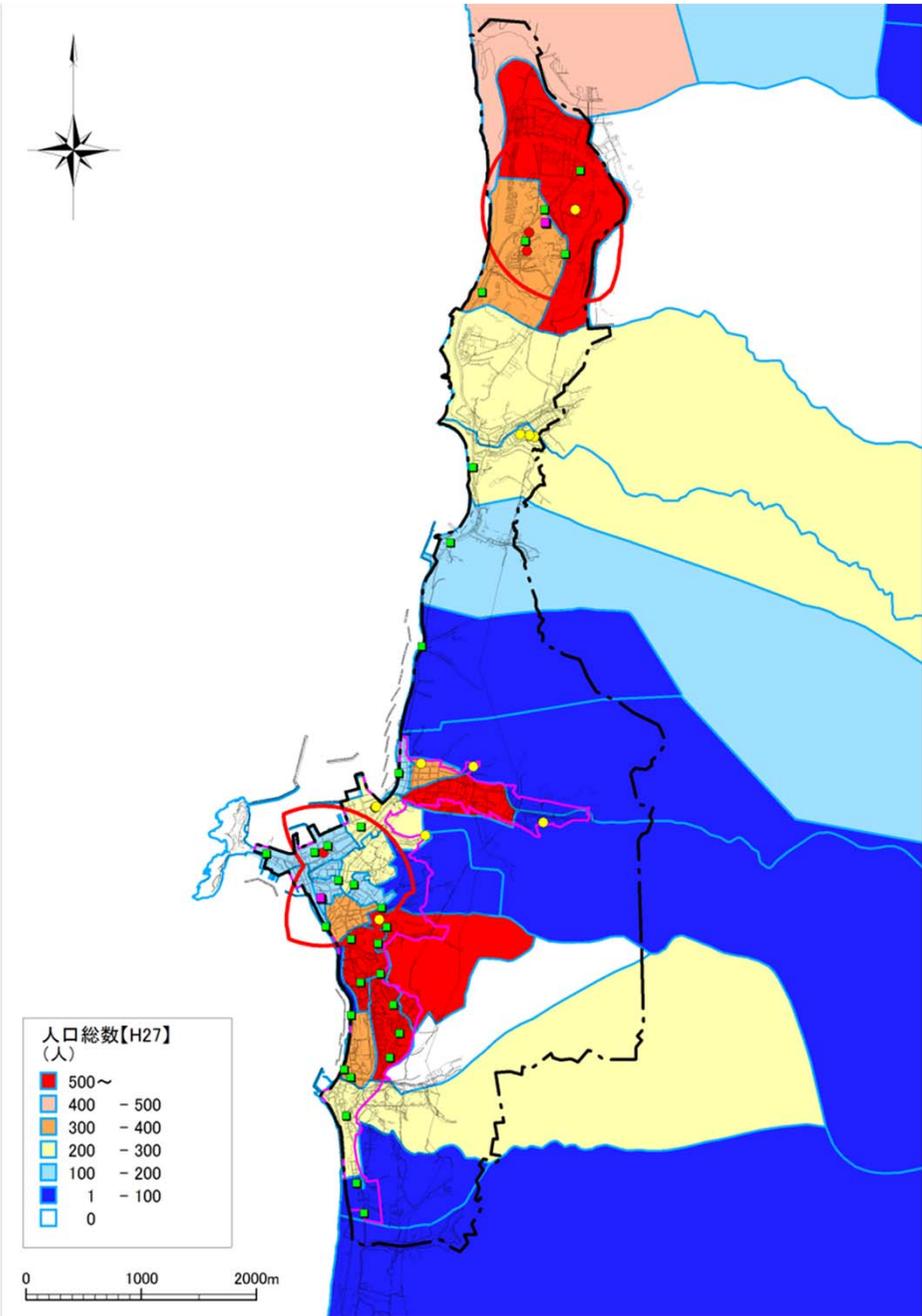
図 施設分布図

Ⅲ 土地利用、市街地・インフラ

【市街地機能の分布、土地利用・開発動向】

◆ 各種施設の徒歩圏は、江差市街地の北部、伏木戸・柳崎に分布している。

| | |
|---|--------------|
| ○ | 日常生活サービス徒歩圏 |
| ● | 医療施設（病院・診療所） |
| ■ | 商業施設 |
| ● | 福祉施設 |
| ■ | バス停 |



(資料：平成27年 国勢調査)

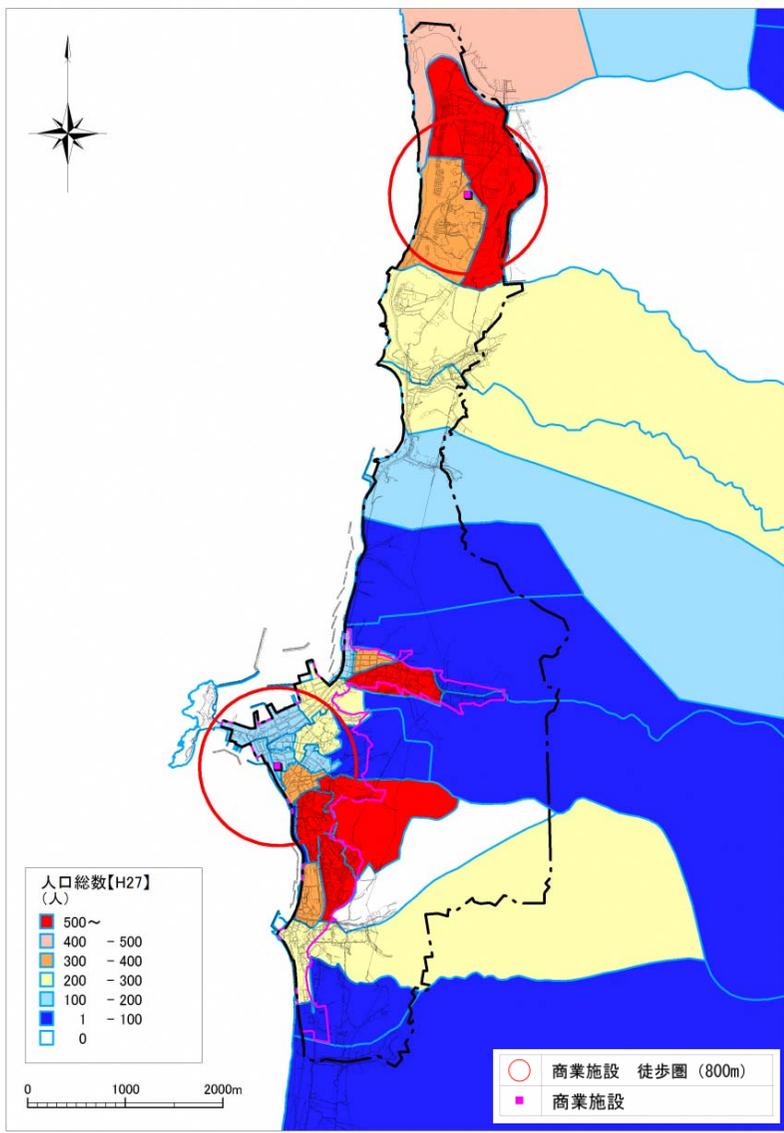
図 日常生活サービス徒歩圏カバー率

Ⅲ 土地利用、市街地・インフラ

【市街地機能の分布、土地利用・開発動向】

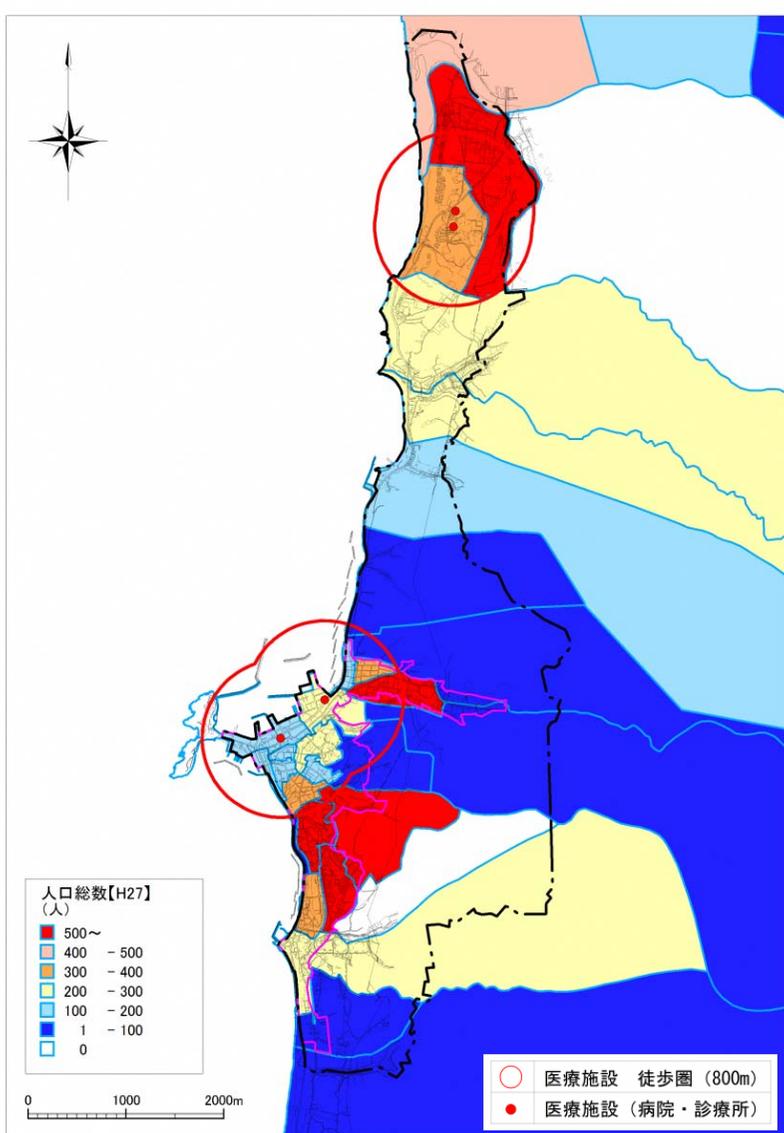
H27

商業施設



H27

医療施設



Ⅲ 土地利用、市街地・インフラ

【市街地機能の分布、土地利用・開発動向】

H27 公共交通（バス停）

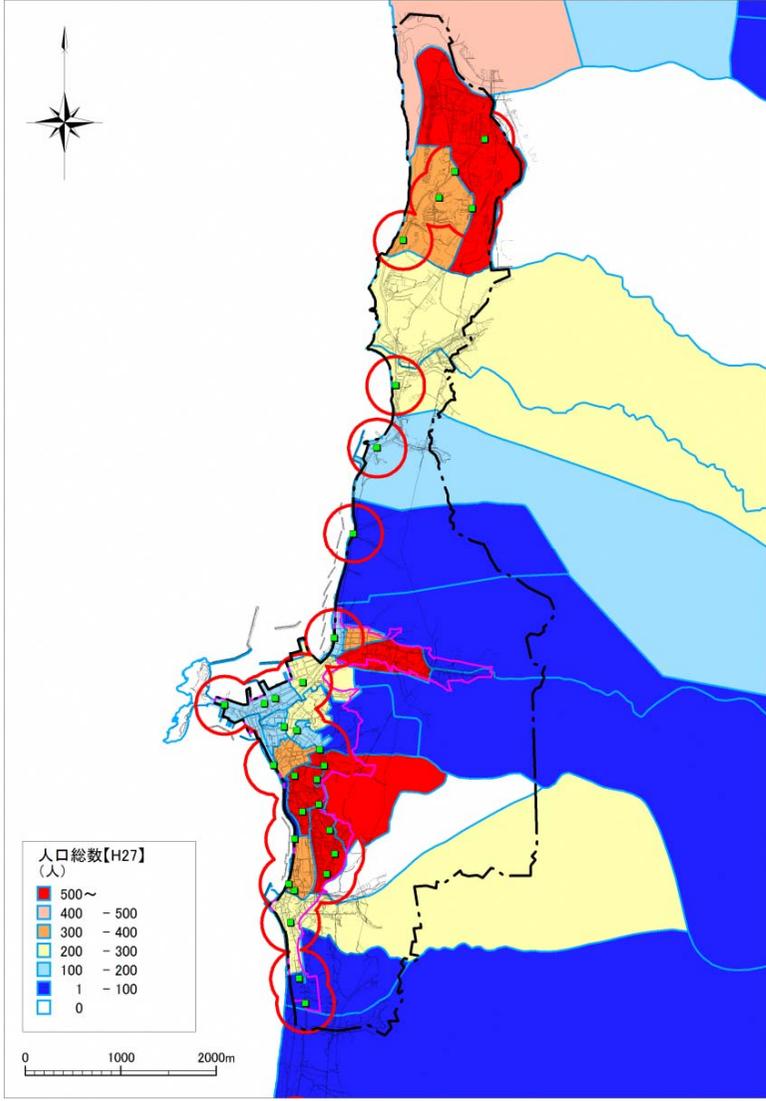


表 江差町のバス交通

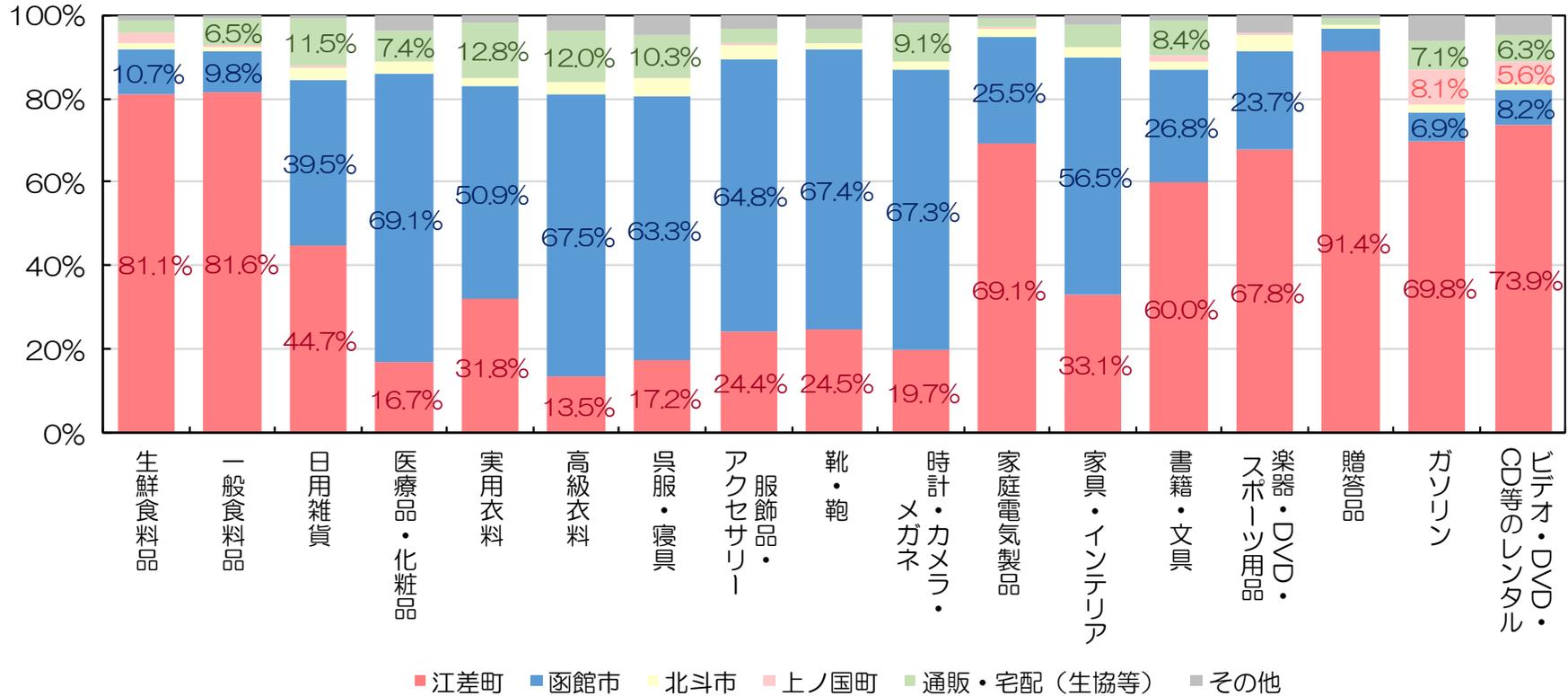
| 路線名 | 主な接続箇所 | 備考 |
|--------|--------------------------------------|-----------|
| 函館江差線 | 函館駅前、新函館北斗駅、鶉、江差病院前、姥神町フェリー前、江差ターミナル | 上下1日15便運行 |
| 江差木古内線 | 木古内駅前、大留、江差ターミナル、姥神町フェリー前 | 上下1日12便運行 |
| 檜山海岸線 | 江差ターミナル、江差病院前、水堀、熊石 | 上下1日12便運行 |
| 江差八雲線 | 江差ターミナル、水堀、熊石、八雲駅前 | 上下1日4便運行 |
| 江差小砂子線 | 江差ターミナル、上ノ国駅前、原口漁港前 | 上下1日9便運行 |
| 稲見・館線 | 江差ターミナル、水堀、鶉 | 上下1日8便運行 |

資料：江差町HP

Ⅲ 土地利用、市街地・インフラ

【市街地機能の分布、土地利用・開発動向】

◆ 買い物については、食料品・日用品は町内、服飾品などは函館市が多い。



(資料：平成21年 北海道広域商圈動向調査)

図 商品別買物場所の利用割合

Ⅲ 土地利用、市街地・インフラ

【市街地機能の分布、土地利用・開発動向】

◆ 昭和56年以前に建築の建物は約6割。木造棟数割合は9割弱を占める。

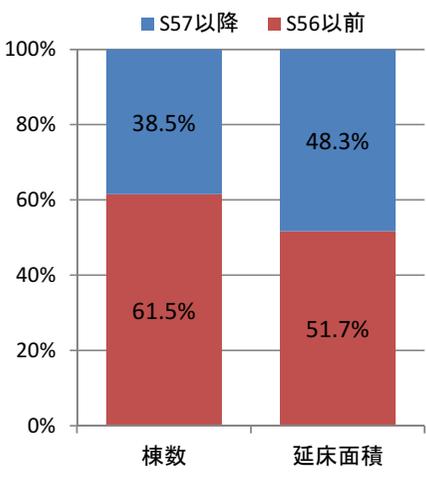


図 建築年別建物現況

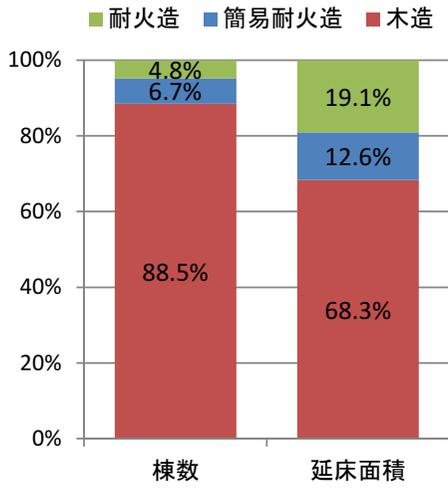


図 構造別建物現況

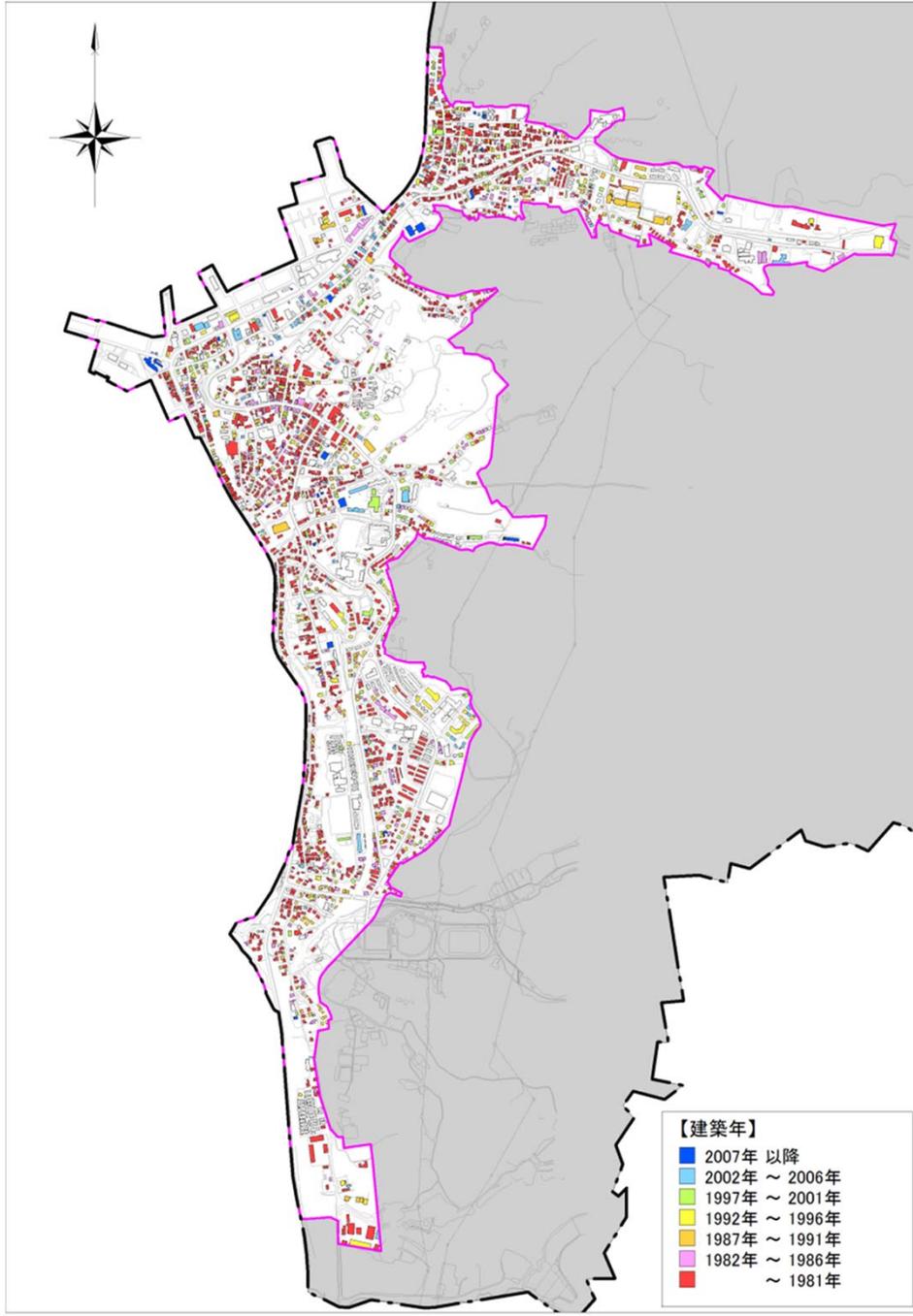


図 建築年別建物現況

(資料：都市計画基礎調査H22.10.1時点)

Ⅲ 土地利用、市街地・インフラ

【市街地機能の分布、土地利用・開発動向】

◆ 用途地域内、特に商業・近商地域にまとまった未利用宅地は少ない。

表 土地利用現況

| 名称 | 敷地面積 (㎡) | 割合 (%) |
|-----------|-----------|--------|
| 建築敷地 | 1,317,275 | 53.0% |
| 未利用宅地 | 140,065 | 5.6% |
| 建築物一体空地 | 538 | 0.0% |
| 資材置場 | 39,854 | 1.6% |
| 青空駐車場 | 23,605 | 0.9% |
| 屋外運動場 | 10,718 | 0.4% |
| 臨港地区内未利用地 | 27,651 | 1.1% |
| 農地 | 17,024 | 0.7% |
| 森林 | 139,166 | 5.6% |
| 原野 | 28,422 | 1.1% |
| 道路 | 415,752 | 16.7% |
| 河川・湖沼 | 29,995 | 1.2% |
| 公園・緑地 | 128,491 | 5.2% |
| その他 | 168,444 | 6.8% |
| 合計 | 2,487,000 | 100% |

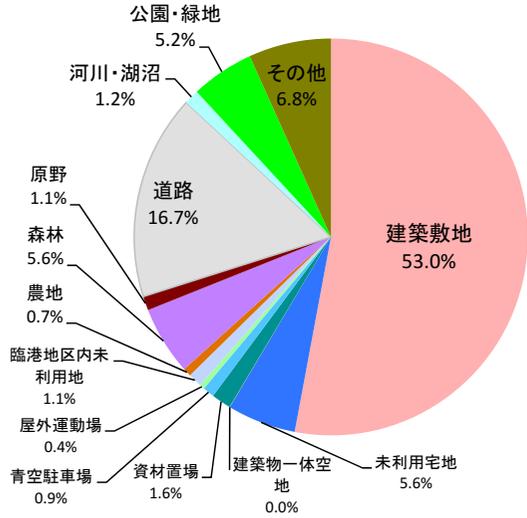


図 土地利用現況

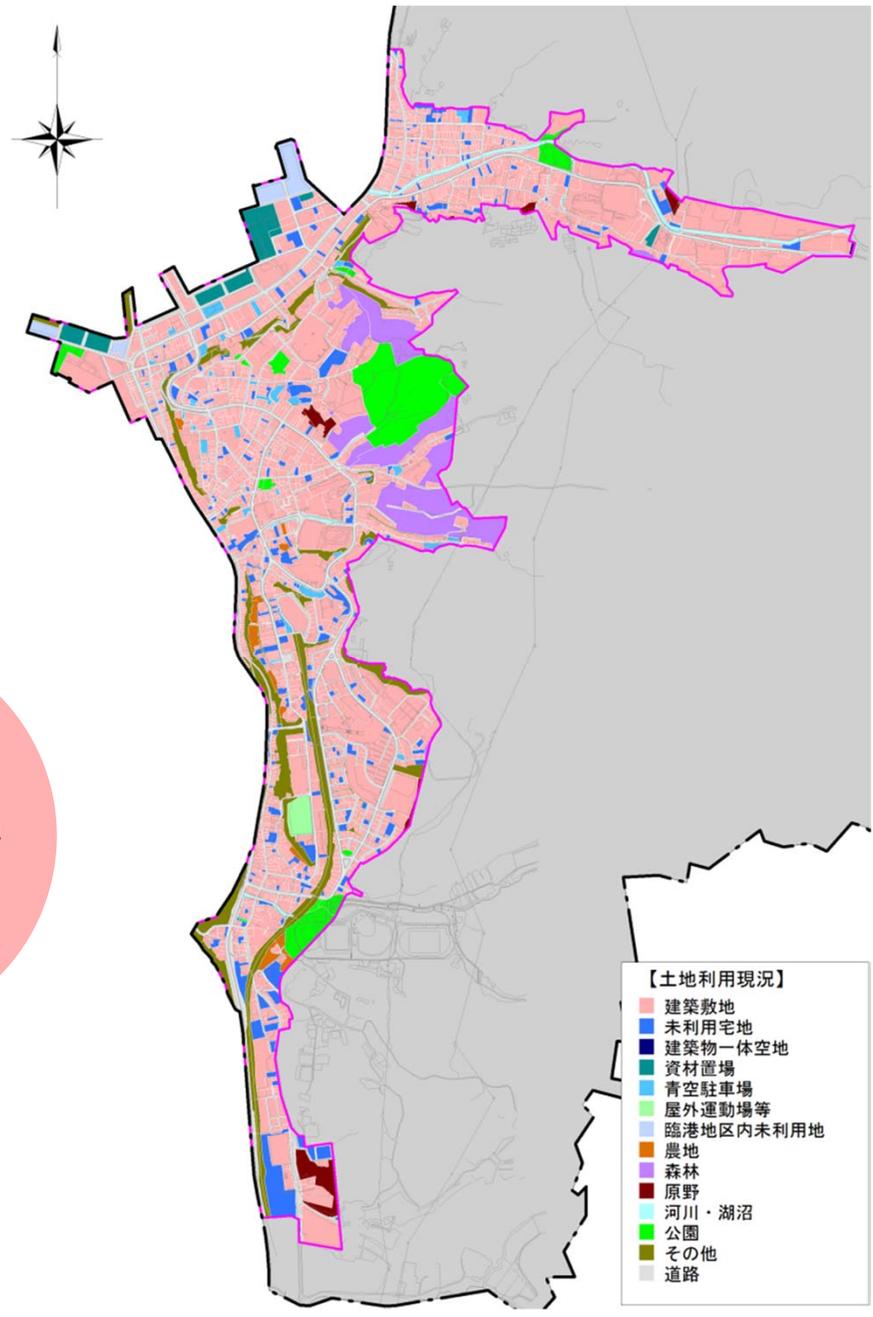
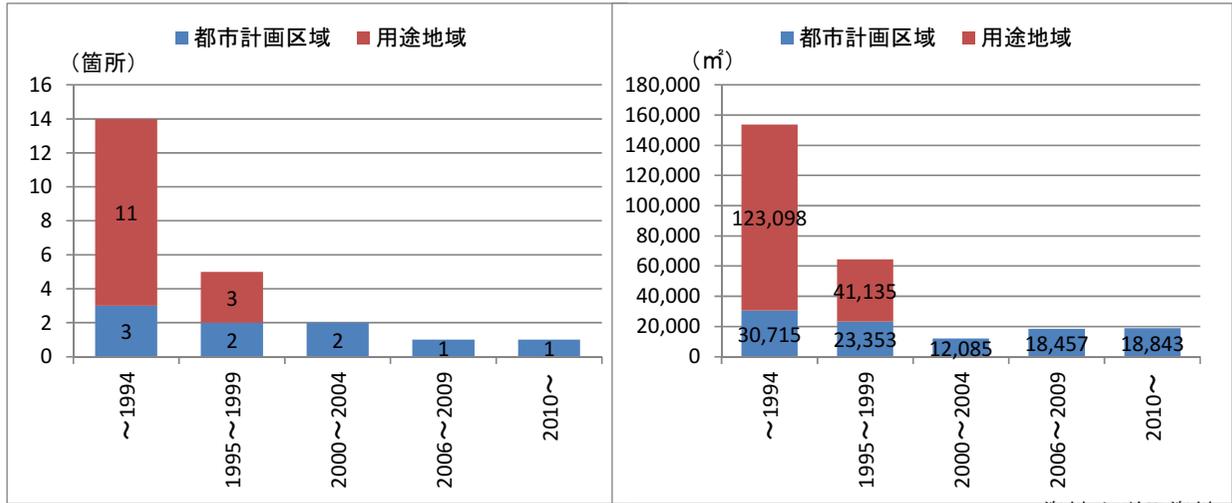


図 土地利用現況

Ⅲ 土地利用、市街地・インフラ

【市街地機能の分布、土地利用・開発動向】

開発行為の状況をみると、近年は箇所数・施行面積の合計ともに減少しているものの、用途地域外における開発が進んでいる様子がうかがえる。



資料:江差町資料

図 開発行為の箇所数

図 開発行為の施行面積

